

ごうどやま

神戸山の新緑がまぶしい季節になってまいりました。1年生もすっかり学校生活に慣れてきたようで、休み時間には元気に校庭へ飛び出し、遊ぶ姿が見られます。各クラスの学習活動も、本格的に始まってきています。5・6年生は、運動会に向け、組み体操の練習も始まりました。5月も子どもたちが元気に過ごせますよう、引き続き宜しくお願いいたします。



～4月4日 前期始業式～

4日の午前中に前期始業式を行いました。新しい先生の紹介に続き担任発表があり、6年生の代表児童の新年度の決意発表と校長先生のお話をお聞きしました。どの子も真剣にしっかりと話を聞くことができました。

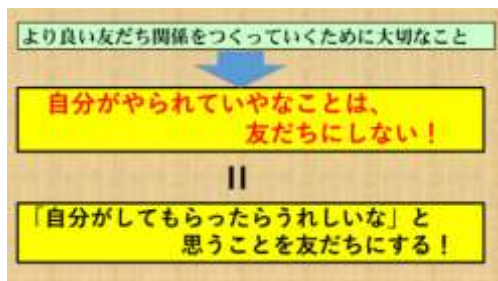
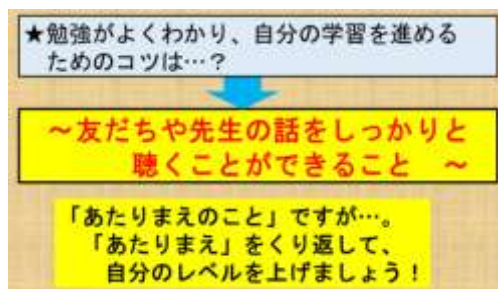
学校長の話

4月3日(金)の前期始業式で、子どもたちには4つの話をしました。

1つ目は、終業式に出した“宿題(「新しい学年でどんな自分になりたいかを考える」「お世話になった方々(父母、祖父母、地域の皆様)に、1年間がんばることができたことへの感謝の気持ちを「ありがとうございました」の言葉にして伝えること)」を忘れずにできたかどうか、心の中で手を挙げてもらいました。「宿題を忘れていた…」と思った子どもたちには、「学校が始まってから、それぞれの教室で、自分の目標をしっかりと考えること」、また、『ありがとう』をしっかりと伝えることができていない子どもたちには、『ありがとう』の気持ちを、お手伝いをがんばったり、お父さんやお母さんといっぱい話したりすることに変えて実行しましょう!』と伝えました。

2つ目は、終業式の日まで、日々の学習や給食当番、清掃活動など、学校生活を一生懸命に取り組んでいる様子を写真で示し、4月以降もしっかりと取り組んでほしいという願いから、「勉強がよく分かり、自分の学習をさらに進めていくようになるためのコツ(「友だちや先生の話しっかりと聴く力をつける)」を伝えました。「そんなことは、当たり前でしょう」と思った子どもたちもたくさんいたと思いますが、この「当たり前のこと」を、当たり前に取り組んでほしいということも話しました。

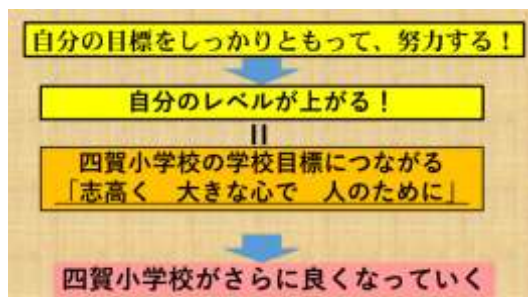
話をしっかりと聴けるということは、自分の考えをしっかりとつとめることができます。「できない。わからない。」と決めつけてしまう前に、「まずは話をしっかりと聴いてみよう」を繰り返し実行することで、今までできなかったことができるようになる、分からないと思い込んでいたこともわかるようになることがあります。まずは、「友だちや先生の話しっかりと聴く」力を高めることをお願いしました。



3つ目は、「より良い友だち関係を作っていくために大切なこと」として、「自分がやられていやなことは、友だちにしない!」ということをお願いしました。「こんなことを言ったら、友だちは嫌な思いをしような…」と一歩立ち止まって考えるクセを身に付けてほしいとお願いしました。また、「自分がやられていやなことは、友だちにしない」ではなく、「自分がしてもらったら、うれしいなと思うことを友だちに」ということでも構わないと話しました。

4つ目は、「自分の目標をしっかりとって取り組んでほしい」ということをお願いしました。そして、子どもたち一人ひとりがしっかりと目標を持ち、その目標に向かって努力することは、自分自身のレベルを上げるとともに、四賀小学校全体のレベルも上がっていくということになるということも話しました。

10分程度の時間でしたが、校長からの「学校生活をよりよくしていくために取り組んでもらいたいこと」について、子どもたちはしっかりと聴く姿が見られました。一つ学年が上がった新しいクラスで、これから自分の目標に向かって頑張ろうという気持ちが続くよう、全職員で子どもたちを支えていきたいと思っています。



～4月4日 令和7年度入学式～

午後の入学式では、34人の元気な1年生が入学しました。校長先生のお話に「はい」と返事をしたり、あいさつの練習をしたり、「ドキドキドン1年生」も大きな声で歌えたりと、とても立派でした。



学校長のお話



柔らかな春の光がふりそそぎ、今日の入学式を祝福しているかのように、この四賀の里にもうれしい春がやってきました。このよき日に、令和七年度四賀小学校の入学式を挙行できる幸せを心から感じております。

さて、一年生の皆さん、四賀小学校へのご入学、おめでとうございます。今日から、皆さんは、百五十年以上続く、伝統ある四賀小学校の一年生です。皆さんのご入学を、お兄さんやお姉さん、そして先生方も、地域の皆様も、みんなみんな、とても楽しみに待っていました。校長先生も、今、皆さんの元気な顔を見て、とても嬉しく思います。毎日元気に登校し、一日も早く学校に慣れて、この四賀小学校を大好きになってほしいと思います。

ここで、一年生のみなさんに、「三つの約束」を お願いします。よく聞いてください。一つ目は、「挨拶をしっかりとしよう」です。学校に来る時には地域のみなさんと、そして、校舎に入ったら友だちや先生と、あいさつする人の顔を見て、挨拶をすれば、相手の人も自分も気持ちが良くなります。気持ちのよい笑顔が増えると、学校も明るくなります。また、自分の名前を呼ばれた時には、「はい」という元気な返事もしましょう。ちょっと練習してみましょう。会場のみなさんは一年生が元気に返事とあいさつできたら、大きな拍手をお願いします。一年生のみなさんは、立ちましよう。

- ・「おはようございます」(1年生は、「**おはようございます!**」と大きな声で言えました。)
- ・「こんにちは」(1年生は、「**こんにちは!**」と大きな声で言えました。)
- ・「さようなら」(1年生は、「**さようなら!**」と大きな声で言えました。)

おはようございます!!



よくできました。すばらしいですね。一年生のみなさんは、座りましょう。

二つ目は、「友達と仲よくしよう」です。お友達と仲よくなるコツは、やさしくお話することです。優しい気持ちでお話をすれば、みんな嬉しい気持ちになります。学校はたくさんのお友達と一緒に、仲良く、気持ちよく学習するところです。友達を叩くこと、嫌なことをすること、悲しい思いをさせることは、絶対にやめましょう。

三つ目は、「自分の命は、自分で守る」です。ここにいるみんなそうですが、命は一つしかありません。特に、学校に来る道路を歩く時には、くれぐれも気をつけて、元気に学校に来てください。そして「**ただいま!**」と元気にお家に帰ってください。

今、お話した「あいさつ」「仲良く」「自分の命は自分で守る」の三つの約束をしっかりと守ってくださいね。

さて、保護者の皆様にお話をさせていただきます。この六年間、手塩にかけてこられましたお子様が無事晴れの入学式を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。いよいよ本日から、小学校での生活が始まります。ぜひ、毎朝お子さんを励まし、学校に送り出してください。子どもたちは、それぞれが宝石の原石のような存在であり、無限の可能性を秘めております。四賀小学校の教職員一同心を込めて、一人ひとりのよさや可能性を引き出し輝かせていけるよう、全力で取り組んで参ります。教育活動の中で、様々なご協力やお願いをさせていただくこともあるかと思いますが、ご理解・ご協力のほど何とぞ宜しくお願い申し上げます。また、小学校は、子どもたちが自分でできることを増やしていく場でもあります。ご家庭でもお子さんの、自立していく姿の見守りをお願いします。

終わりにになりましたが、ご多用の中ご臨席を賜りました諏訪市教育委員 草間 様、PTA会長 竹村 様をはじめ、ご来賓の皆様、本日は、三十四名の新入学児童の小学校生活の出発を祝い、また温かく見守ってくださいまして、誠にありがとうございました。それぞれのお立場から、今後とも四賀の子どもたちへのご支援・ご協力をいただきますことを心からお願いを申し上げ、私の式辞といたします。

4月フォトギャラリー ～みがく ○ちえ ○こころ ○からだ～



1年生 初めての給食



2年生 交通安全教室



地域の方に見守られて 1年生 下校



歌声を聴き合っ～音楽集会～



今年もよろしくお願いします～ボランティア紹介式～



連絡



○帰宅時刻・交通安全について

四賀小学校では、数年前に PTA 理事会や夏の地区懇談会で保護者の皆様にもご検討いただき、子どもたちの安全のため帰宅時刻を統一して、学校、保護者、地域が同一步調で子どもたちへの指導をしていくことにしております。本年度も保護者の皆様にもご理解いただき、下記の時期の目安で、各家庭でのご指導をお願いいたします。子どもたちが事故や事件に巻き込まれないよう、年間を通して大人みんなで見守っていきましょう。

帰宅時刻（家に着く時刻）の目安

5～8月…18:00

9～4月…17:00

これは「遅くとも…」の時間です。各家庭で、お子さんと上記時刻かこれより早い帰宅時刻を約束してください。

これより遅い時刻に、子どもだけで遊んでいる姿を見かけたら、帰宅するようにお声がけください。よろしくお願いします。

今年は飛び石となりますが、ゴールデンウィークに入ります。県外からの訪問客が増えることも予想されます。慣れない道を走っている車が増えることと思います。交通事故に遭わないように十分に気をつけるよう、各ご家庭でも声がけをお願いします。特に、「線路・水路・道路の3路」には十分気をつけましょう。自転車の乗り方はいかがでしょうか。保険加入が義務化されています。また、ヘルメットは必ずかぶりましょう。自転車の点検とともに、安全な乗り方についてもお子さんと話し合ってくださいますようお願いいたします。



○児童が欠席した場合の学校からの連絡方法について（再掲）

これまでお子さんが学校を欠席された場合、連絡児童を通じて学校からのお便りや翌日の予定などを届けておりましたが、「連絡児童が通学路から外れて、欠席児童宅まで行って届けてはいけない」といった安全面での心配や、連絡児童にも塾や習い事などの都合があり、お便りを任された連絡児童にとっても大きな負担になってしまっているなどといった問題も見受けられています。これらの事案を受け、校内で検討した結果、お子さんが学校を欠席された場合は「リバーで翌日の予定や連絡事項をお知らせする」「担任が電話をする」といった方法に変更させていただきます。（ご兄弟が登校されている場合は、ご兄弟にお便り等を渡す場合がございます。）また、翌日の予定や連絡事項が学級便り等で既に分かっている場合は、これらのご連絡も割愛させていただく場合もあります。お子さんが欠席された時に何かご不明な点や、学校から持ち帰りたいものがある場合は、学校へご連絡いただきますようお願い致します。

なお今まで通り、担任がお家へお伺いして直接お話をさせていただきたい場合や、ご家庭からご要望があった場合などは、担任が家庭訪問させていただく場合もございます。ご理解ご協力をお願い致します。